

学校教育目標	「コミュニケーション能力を身に付け、主体的に学習する生徒を育てます。」				
	○思いやりの気持ちを大切にし、心の豊かさを育みます。 【徳】 ○向上心を持ち、麦のようにたくましく生きる力を高めます。 【知・体】 ○想像力を豊かにし、社会に貢献する姿勢を養います。 【公・開】				
学校概要	創立 73 周年	学校長	山口 毅	副校長	桑山 博
	児童生徒数: 742 人	主な関係校: 生麦小、岸谷小、寺尾小、上寺尾小、東台小			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
◎自立のための基礎力 ◆想像する力 ・先を読む力(計画力)・伝える力(発信力)・聴く力(傾聴力)・関係を理解する力(状況把握力) ◆やりとげる力 ・進んで取り組む力(主体性)・あきらめない力(実行力)・ルールや約束を守る力(規律性)	生麦中学校 生麦小学校 岸谷小学校 寺尾小学校	○学習や生活の良い習慣を身に付け、自分の力を伸ばそうと努力する子ども ○「まち」と関わり合いながら学び、「まち」を大切に子ども ----- ○生徒が主体的に取り組む授業実践の推進。 ○「岸谷祭」「旧東海道祭」など「まち」で開催される行事への生徒参画機会の設定。 ○中学校ブロック内小学校を招く「文化・スポーツ交流会」(生麦カップ)の実施。 ○小中合同授業研修会(道徳)と小中一貫教育推進会議の実施。

中期取組目標	○「笑顔溢れる成熟した学校づくり」を目指します。 ・カリキュラムマネジメントを通して、学校の教育力を向上させます。 ・授業改善の視点を充実するとともに、生徒が主体的に取り組む授業の実践を目指します。 ・挨拶を大切にし、強い意志を持って、しなやかに思考し、正しい行動を行う力を育てます。 ・体力向上一校一実践を推進し、学校生活の中で体力向上に取り組めます。 ・地域活動に積極的に参加し、「まち」とのつながりを強めていきます。 ・生徒の将来の自立を目指し、社会で生きてはたらく資質・能力(自立のための基礎力)を高めます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①校内授業研や小中一貫教育推進ブロック授業研において積極的に授業公開し、授業改善の視点を充実させ、生徒が主体的に取り組む授業を目指す。 ②学校独自試験(英語:3年)を実施し、集計結果や学状分析をもとにしながら授業改善を行う。
豊かな心	①道徳的価値を理解し、考え・議論し・実生活との関連を重視した道徳授業の充実を図る。 ②中学校区ブロックでのこども会議を実施し、人権意識の充実を図る
健やかな体	①体力向上に向け、一校一実践運動を通し、生徒一人ひとりが課題に取り組む態度を育てる。 ②外部講師を招き、基本的な生活習慣の定着と健康・安全についての理解を深めるために食育を中心に健康教育の充実を図る。
児童生徒指導	①年3回の教育相談日を設けたり、日頃から声かけを行ったりするなど、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導に組織的に取り組む。 ②生徒指導研修会を複数回実施し、一人ひとりの生徒について情報を共有し組織的な対応を行う
地域連携	①地域の方々を講師に招き、地域講座を開催し、「まち」とともに歩む学校づくりを行う。 ②生徒と地域住民との懇談会開催やHUG(被災者運営ゲーム)を実施し、学校地域の情報共有、協力体制づくりや理解を仰ぐ。
公共心と社会参画	①自分づくり(キャリア教育)について1年次、地域・職業講話、2年次で職業体験を行うことで理解を深める。 ②生徒と地域住民との懇談会開催やHUG(被災者運営ゲーム)を実施し、社会の中で自らの役割を意識し、将来の目標を持てる生徒の育成を図る。
いじめへの対応	①年2回いじめにを含む生徒指導研修を行い、全教職員のいじめに対する感度を高くするとともに、生徒指導部と連携した教育相談や生活アンケートにより細かな変化を見逃さない体制をつくる。②月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認をていねいに行うことで再発防止に努める。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①研究部を組織し、年間を通して研修を行う。特に第一ステージの経験の浅い職員の育成については、ミドルリーダーを中心としながら月1回程度の自主研修を行い育成を図る。②働き方改革の視点から、持続可能な部活動について、部活動委員会を設置し検討を行い、適切な活動の在り方について考える。